

科目名		国語 I (現代文・漢文) (Japanese I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】薄井 信治							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・文章や詩歌の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(復習カード、定期試験) ・問題の考え方や解き方を身につける(口頭試問、復習カード、定期試験) ・漢字テストで平均80点以上とれる(小テスト) ・詩歌の鑑賞文を指定の形式で書ける(レポート) ・原稿用紙5枚の読書感想文が書ける(レポート) ・年間20冊以上の本を読み、「一行感想カード」と「4行読書感想カード」が書ける(レポート) 								
学習・教育目標	(G)①	JABEE基準1(2)		—					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「精選 国語総合」(三省堂)								
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	5	15	10			10	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○	○			◎	/
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【論理的思考】	○	○							
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>授業では、教科書を読む、説明を聞く、ノートをとる、問題を考える、指名されて答える、をほぼ同時に行う。慣れるまでは、大変つらいだろうが、慣れてくると脳が活性化されていくのが感じられるだろう。</p> <p>教科書とノートを忘れずに持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができずに、口頭試問点が減点になる。</p> <p>「その他」は「復習カードの提出」である。授業のポイントを3行程度の短い説明文にすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけてもらいたい。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 随想①	国語の授業の進め方、ノートを取り方などについて理解する。 鷲田清一「『待つ』ということ」を読む。	(復習)復習カードを書く。
2	随想②	鷲田清一「『待つ』ということ」をもとに随想の読み方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
3	評論(1)①	山崎正和「水の東西」をもとに評論文の読み方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
4	評論(1)②	"	(復習)復習カードを書く。
5	漢文入門①	漢文を学習する意味を理解する。 現代語を古語にする方法を理解する。	(復習)復習カードを書く。
6	漢文入門②	熟語を訓読する方法を理解する。	(復習)復習カードを書く。
7	漢文入門③	「借虎威」を読んで、訓読漢文に慣れる。	(復習)復習カードを書く。
8	短歌①	現代短歌の読解の仕方を理解する。 鑑賞文の書き方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
9	前期中間試験		
10	答案返却・解説 短歌②	試験解説により、問題の解き方を理解する。 現代短歌を読んで、鑑賞文の準備をする。	(復習)復習カードを書く。
11	短歌③	現代短歌を読んで、鑑賞文を書く。	(復習)復習カードを書く。 鑑賞文を書く。
12	評論(2)①	佐藤洋一郎「森に起きていること」をもとに評論文の読み方を確認する。	(復習)復習カードを書く。
13	評論(2)②	"	(復習)復習カードを書く。
14	評論(2)③	"	(復習)復習カードを書く。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 読書感想文の書き方	試験解説により、問題の解き方を理解する。 読書感想文の書き方を理解する。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	漢詩①	漢詩の読解の仕方を理解し、鑑賞文を書く。	(復習)復習カードを書く。
17	漢詩②	〃	(復習)復習カードを書く。
18	漢詩③	〃	(復習)復習カードを書く。
19	漢詩④	〃	(復習)復習カードを書く。 鑑賞文を書く
20	評論(3)①	佐藤信夫「コインは円形か」をもとに評論文の読み方を高める。	(復習)復習カードを書く。
21	評論(3)②	〃	(復習)復習カードを書く。
22	評論(3)③	〃	(復習)復習カードを書く。
23	後期中間試験		
24	答案返却・解説 史話①	試験解説により、問題の解き方を理解する。 「晏子之御」(史記)を読む。	(復習)復習カードを書く。
25	史話②	「晏子之御」をもとに史話の読み方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
26	評論(4)①	内田樹「なぜ私たちは労働するのか」をもとに評論文の読み方を深める。	(復習)復習カードを書く。
27	評論(4)②	〃	(復習)復習カードを書く。
28	評論(4)③	〃	(復習)復習カードを書く。
29	評論(4)④	〃	(復習)復習カードを書く。
	学年末試験		
30	答案返却・解説 1年のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方を理解する。 1年のまとめを行う。	
総授業時間数			60時間

科目名		国語 I (古文) (Japanese I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	経営情報学科	履修	1単位		講義	通年 50分/週	30時間		
担当教員		【非常勤】奥田圭子 (【副担当】薄井信治)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	古文にふれ、日本の伝統文化への理解を深めるとともに、それらに親しみながら、読む・聞く・話す・考えるという日本語の能力を育成することにより、社会において求められる読解力、コミュニケーション、表現能力、および感受性を培う。								
学習・教育目標	(G)①	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「精選 国語総合」(三省堂)								
補助教材等	「新版初訂カラー版新国語便覧」(第一学習社)								
達成度評価 (%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	35	35		30					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎		○					/
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【コミュニケーションスキル】				○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>基本的な古典を読む知識を学びながら、古典の文学的文章の読解を通して、国語の力(読む・聞く・書く・話す・考える)を養っていくものである。受動的な姿勢ではなく、積極的に学ぼうという姿勢が望まれる。</p> <p>評価については、定期考査、課題によって行う。</p> <p>毎回の授業をしっかり受講し、ノートを取り、日頃から真面目に取り組んでいくことで対応は難しくない。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 説話「宇治拾遺物語」①	授業概要、到達目標、授業内容を理解する。	「宇治拾遺物語」について調べる。
2	説話「宇治拾遺物語」②	「児のそら寝」を読解し、鑑賞する。	「児のそら寝」を音読し、辞書で古語を調べる。
3	説話「宇治拾遺物語」③	古語・文法・古典常識を学習する。	ノートを見直し、復習する。
4	「竹取物語」①	「竹取物語」の文学的知識を深める。	「ある人、弓射ることを習ふに」を音読し、辞書で古語を調べる。
5	「竹取物語」②	「かぐや姫の生い立ち」を音読し、古語・文法・古典常識を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
6	「竹取物語」③	古語・文法・古典常識を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
7	「竹取物語」④	古語・動詞を復習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
8	中間試験		
9	「伊勢物語」①	「伊勢物語」の文学的知識を深める。	音読し、辞書で古語を調べる。
10	「伊勢物語」②	「筒井筒」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
11	「伊勢物語」③	「筒井筒」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
12	「伊勢物語」④	「筒井筒」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	音読し、辞書で古語を調べる。
13	「伊勢物語」⑤	「筒井筒」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
14	「徒然草」①	「徒然草」の文学的知識を深める。	ノートを見直し、復習する。
期末試験			
15	答案の返却・解説 「徒然草」②	解説を聞き、間違った箇所を修正する。 「つれづれなるままに」・「ある人、弓射ることを習ふに」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。 動詞・助動詞の活用に注意する。

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	「徒然草」③	「ある人、弓射ることを習ふに」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
17	「徒然草」④	「ある人、弓射ることを習ふに」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
18	「徒然草」⑤	「ある人、弓射ることを習ふに」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
19	「土佐日記」①	「土佐日記」の文学的知識を深める。	音読し、ノートを見直し、復習する。
20	「土佐日記」②	「門出」を音読し、時刻・方位の表し方、月の異名について学習する。	ノートを見直し、復習する。
21	「土佐日記」③	「門出」を音読し、時刻・方位の表し方、月の異名について復習する。	ノートを見直し、復習する。
22	「土佐日記」④	「門出」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
23	中間試験		
24	「平家物語」①	「平家物語」の文学史的知識を深める。	音読し、ノートを見直し、復習する。
25	「平家物語」②	「祇園精舎」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
26	「平家物語」③	「祇園精舎」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	音読し、ノートを見直し、復習する。
27	「奥の細道」①	「奥の細道」の文学的知識を深める。	音読し、辞書で調べる。
28	「奥の細道」②	「旅立ち」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	ノートを見直し、復習する。
29	「奥の細道」③	「旅立ち」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	音読し、ノートを見直し、復習する。
	期末試験		
30	答案返却・解説 一年間のまとめ 授業改善アンケートの実施	解説を聞いて間違った箇所を訂正する。 一年間の学習内容のまとめを行う。	
総学習時間数			30時間